

## 76. 前立腺癌患者の抗癌療法中における血漿 FSH, LH 並びに testosterone 値の推移について

東北大学 泌尿器科

白井 将文 松田尚太郎

同 放射線科 中村 護

同 薬剤部 米沢 健三

我々は前立腺癌患者に対しては除睾術並びに抗男性ホルモン剤の併用と手術可能症例に対しては前立腺全摘除術を施行している。また骨転移などによる疼痛を伴った癌の高度に進行した症例に対しては副腎摘除術(薬物的或は手術的), ラドン針による下垂体内照射或は脊髓側索切除術などを行っているが, 今回は除睾術と抗男性ホルモン療法のみを施行している患者について治療開始前後における血漿 FSH, LH 並びに testosterone 値の推移を経時的に観察すると共に一部の症例に対して LH-RH 負荷試験を行い下垂体の反応性と抗癌療法開始後の期間, 抗男性ホルモン剤の投与量等との関係についても検討を加えてみたのでそれらの成績について報告する。